２．重要な非資金取引

不要財産の現物による国庫納付による資産の減少	72,781,239円
無償譲渡による資産の取得	838,775,068円

Ⅴ．金融商品の時価等

１．金融商品の状況に関する事項

資金については、預金保険制度により全額保護の対象となる決済用普通預金において管理しております。

未収債権等に係る顧客の信用リスクは、債権管理規程等に沿ってリスク低減を図っております。

２．金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：百万円）

	貸借対照表計上額	時　価	差　額
⑴　現金及び預金	25,902	25,902	—
⑵　研究業務未収金	5,723		
貸倒引当金	△ 0		
小計	5,723	5,723	—
⑶　未収金	622		
貸倒引当金	△ 0		
小計	622	622	—
⑷　立替金	84		
貸倒引当金	△ 1		
小計	83	83	—
⑸　研究業務未払金	(7,194)	(7,194)	—
⑹　未払金	(5,854)	(5,854)	—

㈱　負債に計上されているものは、(　) で示しております。

（注１）　金融商品の時価の算定

⑴　現金及び預金、⑵　研究業務未収金、⑶　未収金、⑷　立替金、⑸　研究業務未払金、⑹　未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

Ⅵ．賃貸等不動産の時価等

賃貸等不動産の総額に重要性が乏しいため、注記を省略しております。

Ⅶ．減損損失関係

当事業年度において減損を認識した固定資産は以下のとおりです。

【北海道センターＣ８棟（石炭庫）他】

①減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

用　途	種類	場　所	減損前帳簿価額	減損価額	減損後帳簿価額
北海道センターＣ８棟(石炭庫)及び附属設備		北海道札幌市豊平区月寒東２条17－２－１	2,262,642円	2,262,633円	9円
つくばセンター第２事業所８棟及び附属設備	建物	茨城県つくば市梅園１－１－１中央第２	247,785,326円	247,785,267円	59円
つくばセンター第５事業所６Ａ棟及び附属設備		茨城県つくば市東１－１－１中央第５	30,678,859円	30,678,837円	22円
関西センター電池実験棟及び附属設備		大阪府池田市緑丘１－８―31	75,004,808円	75,004,785円	23円
関西センター電池性能試験室他及び附属設備		〃	22,346,776円	22,346,771円	5円
九州センター炭素材料工場及び附属設備		佐賀県鳥栖市宿町807―１	603,990円	603,988円	2円

②減損の認識に至った経緯

経年劣化による老朽化が顕著であるなど倒壊等による危険防止等に鑑み、閉鎖することを決定いたしました。

③減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産の内訳

用　途	損益計算書に計上した金額	損益計算書に計上していない金額
北海道センターＣ８棟（石炭庫）及び附属設備	0円	2,262,633円
つくばセンター第２事業所８棟及び附属設備	0円	247,785,267円
つくばセンター第５事業所６Ａ棟及び附属設備	0円	30,678,837円
関西センター電池実験棟及び附属設備	0円	75,004,785円
関西センター電池性能試験室他及び附属設備	0円	22,346,771円
九州センター炭素材料工場及び附属設備	0円	603,988円

④回収可能サービス価額

取り壊し処分を予定しているところから、備忘価額をもって回収可能サービスとしております。

当事業年度における減損の兆候については以下のとおりです。

【東北センターＢ棟（分析試験庁舎）】

①使用しないという決定を行った固定資産の用途、種類、場所等の概要

用途：東北センターＢ棟（分析試験庁舎）及び附属設備

種類：建物

場所：宮城県仙台市宮城野区苦竹４－２－１